

概要

1951 年、東京在住の働く女性の中核となっていた女性たちにより、女性の地位向上を目指しながら親睦を図る小さなグループ『東京有職婦人クラブ』が誕生。その後横浜・名古屋などに同様のクラブが結成され、1958 年には、日本有職婦人クラブ全国連合会が発足しました。1959 年には IFBPW（現 BPW International）に加盟し、1994 年世界各国の呼称統一の動きにあわせて、日本 BPW 連合会と改称しました。

会員は、職業を持っている、または、かつて持っていた女性が中心です。平成 21 年 9 月 15 日、「特定非営利活動法人 日本 BPW 連合会」として法人化しました。

現在の日本 BPW 連合会は、17 のクラブ・アソシエーツ及び個人会員で組織され、会員は約 300 名です。

内閣府男女共同参画推進連携会議の構成団体です。

全国大会（年 1 回）

- ◇ 基調講演
- ◇ 公開ワークショップ
- ◇ パートナースHIP・エバリュエーション賞発表
(行政の男女共同参画貢献度を評価し表彰)
- ◇ ヤングスピーチコンテスト全国大会

ブロック研究会（年 1 回・公開が原則）

統一テーマに沿って、全国 5 ブロックで開催

単位クラブ活動（毎月 1 回例会開催）

全国各地の単位クラブ・アソシエーツが統一テーマに沿った独自の活動を展開

広報活動 ニュースレター(年数回)・会報(年 1 回)発行

ホームページ <http://www.bpw-japan.jp>

フェイスブック <https://www.facebook.com/bpw.japan>

BPW International (BPWI) はスイス、ドイツ、フランス、イタリア、イギリス、アメリカ、メキシコ・ブラジル、エジプト、オーストラリア、韓国、台湾等 5 大陸にわたる 100 以上の国と地域が加盟、会員数は数万人です。国連の経済社会理事会の諮問機関として、一般協議資格を持つ団体で、国連の CSW(女性の地位委員会) 及び ILO、UNESCO、UNIFEM に代表を送っています。

世界大会(コンgres)を 3 年に一度開催し、世界の女性達に共通する問題を協議・決議しています。1993 年のコンgresは日本・名古屋で開かれました。

クラブ単位の国際交流事業として、ソウルクラブと東京クラブ、仁川クラブと長崎クラブ、台北クラブⅡと京都クラブ、桃園クラブと大阪クラブ、台中クラブと北九州クラブが姉妹クラブとして交流を持っています。

統一テーマ (2015 年～)

Making a Difference Through Leadership and Action

— リーダーシップと行動を通して力を発揮しよう —

ニイマル サンマル ゴウマル

サブテーマ: 2030 年を目指して

— 2030 年に完全なジェンダー平等の実現を目指して動きだそう



** 事務局 **

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館 303

TEL03-5304-7874 FAX03-5304-7876

E-mail office@bpw-japan.jp

URL <http://www.bpw-japan.jp/>



<https://www.facebook.com/bpw.japan>



National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN

特定非営利活動法人 日本 BPW 連合会



1. 女性の社会的地位と職業水準向上
2. 働く女性の社会環境の改善、整備
3. 国内外の働く女性間の親交と理解の促進
4. 国内外の組織・団体との協力連携
5. 世界平和への寄与

BPW は、Business and Professional Women の略で、日本 BPW 連合会は、働く女性たちの国際組織 BPW International 加盟の NPO 法人です。働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的としています。

近年のグローバリゼーションのなかで、国際的には、「より調和ある平和な世界のために、あらゆる分野で男女相互の尊敬に基づくパートナーシップで諸般が決定されるような、女性にとって平等で正しい地位を確立するための活動」という文言がビジョン・ステートメントとなっています。

BPW International は、国連の経済社会理事会の諮問機関として、一般協議資格を持つ NGO の団体です。

主な活動

イコール・ペイ・デイキャンペーン実施

男女の賃金格差を「見える化」する運動。男性の1年分の賃金を女性が手にするため、1年を超えて余計に働きようやく同じ賃金を手にする日を「イコール・ペイ・デイ」として、内閣府・厚生労働省・首長等への要望書提出や街頭ピーアール等実施。(2016年は4月10日)

WEPS (女性のエンパワメント原則) の広報啓発事業

女性が能力を発揮しやすい環境整備に向け、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業の行動原則 (=WEPS : ウェップス) への理解及び参画企業拡大のための活動。

男女格差解消に向けた活動 (GGGI)

世界経済フォーラムが毎年公表する、男女平等度指数 =GGGI : The Global Gender Gap Index) に基づき、男女格差解消に向けたシンポジウムの開催や、提言を実施。(2016年日本144か国中111位)

国連CSW インターン派遣及びイベント実施

国連女性の地位委員会 (CSW) に国際的な女性の問題に取り組む意欲のある20代女性をインターンとして派遣し、世界の女性たちと問題を共有できることの大切さを学んでもらい、将来国際的な立場での活躍を応援。またCSW サイドイベント・パラレルイベントの運営・実施等。

ヤング・スピーチコンテスト

女性が社会的地位を獲得していくために必要なスキルを磨く為、「私と仕事・職業」をテーマに地区大会及び全国大会を開催し、将来リーダーになるべく有望な若い女性たちがプレゼン能力を高めるための機会を提供。

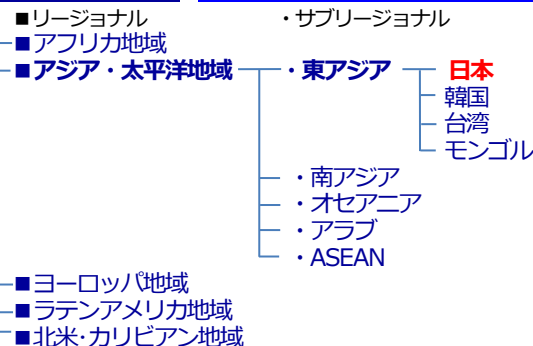
他団体交流・連携事業

国内的、さらに国際的に男女共同参画社会形成・推進という目的を共有する団体と連携して研修の企画・運営や要望書提出などを行う。



組織

BPW International <http://www.bpw-international.org>



【国内組織】

執行役員会

理事長
副理事長
専務理事
会計

■ 単位クラブ等

北海道・東北
ブロック
札幌クラブ
苫小牧アソシエーツ
青森アソシエーツ
山形クラブ

常任委員会

企画
組織
広報
国際
財務
ヤングBPW

関東・山梨

ブロック
東京クラブ
山梨クラブ

中部ブロック

名古屋クラブ
あいちアソシエーツ
岐阜クラブ

近畿ブロック

京都クラブ
大阪クラブ
和歌山クラブ
香川クラブ

西日本ブロック

福岡クラブ
北九州クラブ
長崎クラブ
熊本アソシエーツ

理事会

上記役員、常任委員長及び
各単位クラブ代表理事で構成

プロジェクトチーム

課題によって適宜構成

■ その他

個人会員
賛助会員

Congress 開催地及び今後の予定地

- 第19回 1989年 バハマ (ナッソー)
- 第20回 1991年 ケニア (ナイロビ)
- 第21回 1993年 日本 (名古屋)
- 第22回 1996年 イタリア (ベニス)
- 第23回 1999年 カナダ (バンクーバー)
- 第24回 2002年 オーストラリア (メルボルン)
- 第25回 2005年 スイス (ルツェルン)
- 第26回 2008年 メキシコ (メキシコシティ)
- 第27回 2011年 フィンランド (ヘルシンキ)
- 第28回 2014年 韓国 (チェジュ)
- 第29回 2017年 エジプト (カイロ)



日本BPW 連合会歴代代表

1958～1959	山主 敏子	共同通信論説委員
1959～1961	久米 愛	弁護士
1961～1963	西 清子	評論家
1963～1965	金子 みつ	参議院議員
1965～1967	高力 寿美子	大阪府専門職員
1967～1971	北野 とみ	アメリカ文化センター次長
1971～1975	影山 裕子	国立電報電話局長
1975～1976	高橋 展子	駐デンマーク大使
1976～1979	橋本 綾子	衣笠学園園長
1979～1980	高橋 展子	駐デンマーク大使
1980～1983	安藤 はつえ	あいふぉーらむ編集長
1983～1987	高橋 久子	最高裁判事
1987～1991	佐々 基子	NHK プロデューサー
1991～1995	安藤 はつえ	あいふぉーらむ編集長
1995～1999	平松 昌子	就職情報誌編集長
1999～2003	出村 和子	弘前学院大学教授
2003～2005	平松 昌子	会社役員
2005～2009	黒崎 伸子	小児外科医
2009～2013	松原 敏美	弁護士
2013～	名取 はにわ	男女共同参画局長

※肩書きは、会長・理事長就任時のものとは限りません